

# 「我らの主に向かって」

(ピリピ2:11)

われらの主に向かって 新しい歌を歌おう

喜びの声をあげよ 主はわれらの勝利

われらの主に向かって 新しい歌を歌おう

喜びの声をあげよ 主はたよれるお方

イエスは主(イエス) イエスは主(イエス)

この賛美もってほめたたえよう———

イエスは王(イエス) イエスは王(イエス)

この賛美もってほめたたえよう

# 149 平和、川のように

1. 平和、川のように 平和、川のように  
平和、川のように 心に  
平和、川のように 平和、川のように  
平和、川のように 心に
2. 平和、川のように 喜び 泉のように  
愛、海のように 心に  
平和、川のように 喜び 泉のように  
愛、海のように 心に

新聖歌99番 「馬槽(まぶね)の中に」

- 1 馬槽(まぶね)の中に 産声(うぶごえ)上げ  
木工(たくみ)の家に 人となりて 貧しき憂(うれ)い  
生くる悩み つぶさになめし この人を見よ
- 2 食(しょく)するひまも うち忘れて  
しいたげられし 人をたずね  
友なき者の 友となりて 心くだきし この人を見よ
- 3 すべてのものを 与えしすえ 死のほか何も  
報(むく)いられで 十字架の上に 上げられつつ  
敵を赦(ゆる)しし この人を見よ

【次】

新聖歌99番 「馬槽(まぶね)の中に」

4 この人を見よ この人にぞ こよなき愛は  
現われたる この人を見よ この人こそ  
人となりたる 活(い)ける神なれ

アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌339番 「恵みの高き嶺(ね)」

1 恵みの高き嶺(ね) 日々わがめあてに  
祈りつ歌いつ われは登り行かん

\* 光と聖(きよ)きと 平和に満ちたる

恵みの高き嶺(ね) われに踏(ふ)ましめよ

2 恐れのある地に などかはとどまらん  
ぎわくの雲をば 早く下に踏まん \* (くりかえし)

3 狭霧(さぎり)のかなたに あまつ日 輝く  
うきよをあとにし なおも登り行かん \* (くりかえし)

4 けわしき坂(さか)をも 直(す)ぐなる岩をも  
み助けある身は ついに登りきらん \* (くりかえし)

アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの  
おお みかみに

ときわに たえせず  
みさかえあれ  
みさかえあれ  
アーメン